



古谷 眞司 議員 … 2件の一般質問

旧東陵中学校校舎をどう活用していくか

町長：2年を目処に施設利用を考える

古谷

旧東陵中学校は閉校してから2年が経過し、利用されていない校舎は、外見及び内部設備は決していい状態には思えない。

①旧東陵中学校の利用について、これまでの検討経過はどうか。

②施設をスポーツ活動や文化活動、地域の集まり等の活動に提供できれば地域の活性化を促し、施設の維持にもつながると思うが、今後の活用の見通し、建物の維持管理、実現に向けてのタイムスケジュールはどうか。

町長

①当初、統合保育所並びに子育て支援センターへの利用予定だったが、その後、安全面や保育事業全般に課題が残り、統合保育所としてはふさわしくないとの判断に至る。その後、高齢者住居の設置推進に関する要望書が提出されたが、かかる負担を考慮して利用を断念したものと推測され、実質的には立ち消えたと考えている。

②これまでの利用実態で



早急な活用が待たれる旧東陵中学校

は体育館は町内小中学校へ使用申請に基づき開放しており、校舎棟は一部を防災関連物品の備蓄場所として使用している。

今後の利用は、例えば体育館は、さらに子供たちの利用を広めることとし、部活動での利用のほか、大会開催に係る利用促進や地域の子供たちへの運動の場を提供し、積極的に町民に開放していく必要も考えている。

また、隣接するソフトボール場での雨天時の屋内施設として提供するなど、さらにNPO法人などを活用し、体育館、屋内外を活用してのスポーツ振興を図ることも考えている。そのほか老人の医療施設や保健施設、障がいを持つ人たちが子供たちの機能訓練施設など新たな産業育成にも結びつく農業サイドの施設として屋内野菜工場なども

検討して行く。

遅くとも2年以内には、全体的なスケジュールを持ったものでしつかり施設利用を考えている。

春季の小中学校グラウンドの早期利用

古谷

町内の各小中学校のグラウンドは、冬期間、地域の雪の堆積場として利用されて雪解けが遅く、子供たちのグラウンドでの活動がどこの近隣町村よりも遅いのが現状である。

町内小中学校の教育環境整備のため、グラウンドに堆積した雪を排雪し近隣地域に劣らない教育環境をつくることが重要と考えるが、教育長はどう考えているか。

教育長

毎年、教育委員会では、町内小中学校の運動会や体育大会、中体連大会に向けて部活動が本格化する時期に支障が出ないように、春先に重機によるグラウンドの雪割りを行っている。

作業を考えると、排雪ダンプがグラウンド内に入るには、ある程度積雪がなければ無理で、そうなるとうグラウンドへのダメージが大きくなるのが想定される。

また、あらかじめどこか1カ所に雪を寄せておいてから積み込んで運ぶことになる、作業効率の面からも、難しいと考えている。

現状では、春先の気象状況を見ながら、できるだけ早い時期に雪割り作業を行うことが効果的と考えており、来年度以降も雪の状況を確認しながら対応していきたいと考えている。

今後子供たちが少しでも早くグラウンドに出る、スポーツ活動に活用できるように、効果的な方法を雪の状況も見ながら対応していきたい。